



自然と人間社会が共生する只見町

# 議会だより

No.163

令和3年4月23日発行

2021 APRIL



## 令和3年度新年度予算特集

..... 2~7

3月会議条例改正、補正予算 ..... 8

教えて議会のこと ..... 12

10名が町政を問う！一般質問 ..... 13~23

## 聖火が駆け抜ける

P11に関連記事

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ➡





# 総額79億3490万円を可決!

協同組合を設立し労働者派遣事業を行ない、  
地域の担い手を確保!

特定地域づくり事業  
推進交付金 **1500万円**

今年で只見～大白川間開通50周年!



只見線でのファッションショー

只見線みんなで応援しよう!

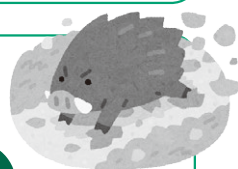
只見線全線再開通に向けた事業

**2600万円**

今年はさらに鳥獣被害対策拡充!

鳥獣被害対策関連事業 **1309万円**

(今年は6月からパトロール開始予定)



多くの移住定住政策 (一例2名以上世帯100万円、  
企業支援は最大200万円)

U・Iターン有資格者  
人材確保推進給付金 **1000万円**

只見産米のブランド化に磨きをかけ  
更なる魅力向上に

農産物販売力等  
強化委託料 **220万円**



只見産米の魅力向上に

3月2日から11日まで延べ8日間行なわれ、令和2年度補正予算、条例改正、人事案件などが提出されました。また、予算特別委員会を設置し3日間の集中審議が行なわれ、令和3年度の一般会計・特別会計10議案すべて原案の通り可決されました。主なものを抜粋してお知らせします。

(千円未満切り捨て)

# 一般会計・特別会計予算

安心して暮らせるために一日も早い接種へ



新型コロナウイルス  
ワクチン接種委託料

1920万円

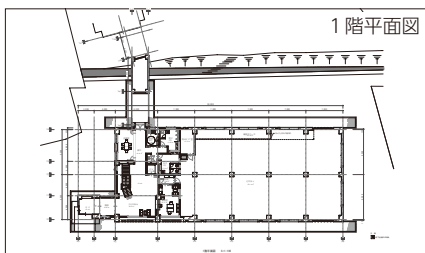
学校給食費無償に伴い！

学校給食費補助金

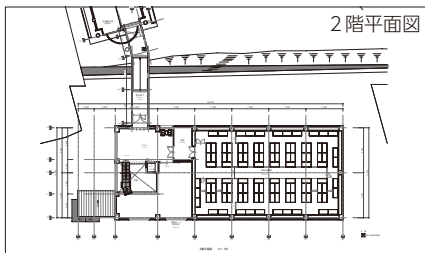
1532万円



学校給食無償化に



1階平面図



2階平面図

完成間近のモノとくらしのミュージアム

先人が歩んできた暮らし・  
太古の生活にタイムスリップ  
そんな施設完成もう少し！

モノとくらしのミュージアム  
及び考古館改修工事

1億5753万円

みんなの交流施設整備充実へ

むら湯源泉及び湯ら里  
施設改修・備品購入・工事

8589万円

安心してプレーができる野球場へ！



町下野球場改修工事  
(防球ネット整備)

6700万円

(千円未満切り捨て)

# 予算特別委員会

予算特別委員会では新年度予算が適正に計上されているのか、慎重に審議されました。

## 歳入



**問**

町税5税のここ10年間で総減収額はどのくらいか。

**答**

約1億200万円減収している。

**問**

固定資産税は前年と比較して減収額はどのくらいか。

**答**

全体で3600万円程、大規模分で1800万円、一般分で640万円程の減額となっている。

**問**

固定資産税が年々減少しているが、その分地方交付税で入ってくるのか。

**答**

固定資産税が減ることによって、地方交付税増額の算定要因となる。

**問**

森林環境譲与税が倍増している要因は。

**答**

令和6年までは増額の推移が見込まれる。



**問**

地域おこし企業人交流プログラムの到達目標は。

**答**

映像を利用したPR事業やこれからのデジタル社会に対応した技術を磨き、スキルアップを図っていく。

**問**

ふるさと納税の利用者に広報などみ等の情報発信はしているのか。

**答**

希望者にはお送りしている。今後これをきっかけに係人口から交流人口、さらには定住へ結び付けられるようにしていきたい。

## 総務・地域創生



老朽化の進む広域消防只見出張所

**問**

広域市町村圏組合・只見出張所(広域消防署)の建て替えが必要なのではないか。

**答**

建て替えに向けて進めていきたい。

**問**

町正規職員の数は確保できているのか。

**答**

今後も人材確保に努めていく。令和3年度一般職2名、看護師1名採用となっている。



# 観光 商工

**問**

観光まちづくり協会を含め観光行政をまとめる考えは。全体が見えるような組織ビジョンは考えられないか。

**答**

交流人口増につながるような体系的な取り組みが大事なことだ。体制づくりを含めて検討したい。



観光情報の発信拠点

# 農林 建設

**問**

ナラ枯れが深刻だが、森林病害虫の予算が減額されているのはなぜか。

**答**

事業を組み替えており、効果が表れているところもあり今後も継続していく。地元産材の活用が伸び悩んでいる。もっと活用できる方法がないか。



活用が望まれる地元産材

**答**

使用を増やす為に、住宅だけでなく、非住家も対象としている。さらに事業のPRをしていきたい。

**問**

今後只見米のブランド化や食味向上事業の参加は誰でも出来るのか。

**答**

GAPに取り組んでいる方など多くの農家さんに呼びかけている。



ブランド化を目指す只見産米

**問**

除雪オペレーター育成支援事業のこれまでの実績は。

**答**

今年で2年目の事業で初年度1名、今年度は3名の申請があった。次年度も希望者がいる。今後広く啓発し、若いオペレーターの育成に努めたい。(上限10万円)



町民の生活を守る除雪オペレーター

# 保健 福祉

# 教育 委員会

**問**

子宮頸がんワクチン接種事業の啓発をしてほしい。

**答**

子宮頸がんワクチン接種事業の啓発をしてほしい。しっかりとやっていきたい。

**問**

奥会津学習センターの運営はどこに委託するのか。

**答**

今年度から運営委員会に委託する。今年度は会計年度任用職員に管理運営をしてもらう。

**問**

今後は管理運営団体等に運営して頂くべきでないのか。

**答**

今年度は指定管理事業者が見つからなかったが、将来は違う形の検討していきたい。

**問**

各学校のICT支援員を増やす考えはないか。

**答**

今のところ人員確保の見通しが立っていない。まずは1名確保したい。各学校の状況に応じて拡充も考えていきたい。



運営体制が変わる奥会津学習センター



タブレットを使った学習風景

# 特別 会計

**問**

診療所の医師体制はどうなっているのか。

**答**

現在常勤医師2名、応援医師2名となっているが、夜間救急対応は現状では受け入れできない状況にある。

**問**

診療収入の減額理由は。

**答**

新型コロナウイルスにより外来診療に訪れる人が減少すると考えられる。





# 予算特別委員会審議結果



委員長 小沼 信孝

副委員長 矢沢 明伸

## 予算特別委員会意見

- ①高齢化、人口減少が進み、さらにコロナ禍など大きな社会情勢の変化のなかで 町税、特に大規模固定資産税及び地方交付税も年々収入減少が懸念される状況となってきた。今後は地方交付税、国県支出金や優良起債等含め財源の確保が重要な課題であり、適正な財政運営をすすめ、事務事業を検証、精査し、効果的な予算執行に努められたい。
- ②各事務事業を進める中で、正規職員さらに会計年度任用職員等の人材確保が大きな課題となっており、短期的な雇用体系は人材確保の阻害要因となっていると考えられる。また、町づくりにもつながるよう広く人材を求め、安定的な雇用の確保を図るとともに、職員の研修等の充実により更なる資質向上に努められたい。
- ③JR只見線の再開通、国道289号八十里越の開通が目前に迫る中、今後の観光誘客事業等は只見町において重要な施策であり、受け皿となる町内の観光施設等はその中核的な役割を持つものである。この状況において公の施設の指定管理のあり方、検証を含め、只見町の観光行政と観光関連施設を運営する指定管理事業者との更なる連携に努められたい。

## 令和3年度各会計予算審議賛否

会計名	賛 否										
	佐藤	酒井(正)	酒井(右)	菅家	小沼	矢沢	中野	山岸	三瓶	齋藤	鈴木
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
国民健康保険施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護老人保健施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域包括支援センター特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日財産区特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 3月会議条例改正・補正予算

全17議案が審議され主なものをお知らせいたします。

## 山村の暮らし体験施設「森林の分校ふざわ」

- 管理団体……………森林の里応援団
- 指定管理期間……令和3年4月1日より2年間
- 運営については特に冬期間のお客様の確保も重要になるため、旅行会社を含め町も関われる所は関わっていききたい。



森林の里応援団に委託

## 条例改正

### 只見町営住宅条例の一部改正

入居条件に所得制限があったために入居者希望者がなく空室があったが、所得額を緩和することで入居希望者に促進することが出来るよう改正を行なった。(福井団地などが対象)  
他6議案の条例改正があった。

## 指定管理事業者決定

## 補正予算

### 除雪支援保険事業除雪機整備補助金

軒下除雪を担う事業者の除雪機購入費用を補助する。

#### 問

本事業で数年経っており、除雪機械の耐用年数が近づいている。軒下除雪の請負件数が多い事業者ほど痛みが激しい。7年間という補助サイクルの見直しはあるか。

#### 答

質問の趣旨は理解できるが、事業者も補助事業以外でも稼働することもあるため公平性を保つのが難しい。補助期間の見直しは引き続き検討が必要。

### 田子倉湖遊覧船等運行事業補助金

田子倉湖遊覧船を安定して運航するために補助をする。昨年度は台風19号、今年度は田子倉湖の渇水などで繁忙期の紅葉時期に運航できなかった。

#### 問

町内の公施設全体で見ると不平等が生じている。事業者に補助するのではなく指定管理施設とし、安定した運営を目指すべきではないか。

#### 答

検討する。



安定した運営が望まれる遊覧船



完成した万代橋

### 万代橋復旧工事負担金

#### 問

令和2年に万代橋が完成したが、町の負担金はいくらだったか。

#### 答

町の負担総額は約9700万円あった。



# みなさまからの請願・陳情について

## 請願・陳情の結果

### 請願

「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書

不採択

**請願者** 福島県教職員組合南会津支部 支部長 渡部 秀和

**理由** 本件は新型コロナウイルス感染防止や、子ども一人ひとりに行き届いた教育を保証するため、「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」を関係機関に提出する請願であった。  
審査結果として、請願内容は理解できるものの、すでに少人数になっている当町には関連が薄いこと、現状でも教員が不足している中、更に教員を大幅に増やすことは教員の質の低下につながる恐れがあること、少人数の学級が多い地区には加配講師を配置できなくなることなどが予想されるため、結果として不採択とした。

### 採択

要望書 地域の安全安心に関する要望

陳情

**要望者** 只見町建設業協会 会長 美馬 典昭

**理由** 本件は、当町における建設業の将来へ向けた深刻な担い手不足の解消と、八十里越道路開通を見据えた除雪体制を含む、早急な道路改良の推進を関係機関に求める要望であった。  
審査結果として要望内容は八十里越道路の今後の除雪体制、歩行者の安全確保のための道路改良、観光交通路線の確立等、町として押し進めていかなければならない課題と合致しており、建設業の経営持続は必要不可欠であることから、本件は採択とした。



除雪体制を支える建設業

### 採択

福島県最低賃金の引き上げと  
早期発効を求める意見書提出の陳情について

陳情

**陳情者** 日本労働組合総連合会福島県連合会  
南会津地区連合会 議長 渡部 盛男

**理由** 本件は、福島県の最低賃金の引き上げを求めること、中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行なう環境整備、福島県内の労働力確保、人口流出抑制・防止を見据えた金額とすること、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早め、早期の発効に努めることを求める意見書の提出を関係各所に求める陳情であった。  
審査の結果、全員一致で採択とした。

## 総務厚生常任委員会

### ●朝日診療所基本計画 介護保険事業計画を審議

新型コロナウイルスの感染予防のため委員会活動も大きく制限されたが、本町及び当該地域の基幹となる「第一次朝日診療所基本計画（案）」について、当局から提案を受け審議した。

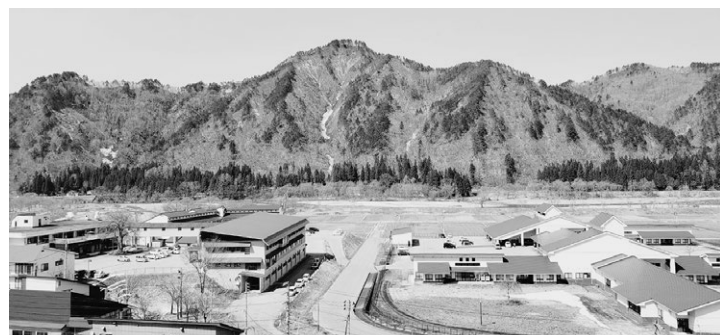
特に、新型コロナウイルス感染症に対処する朝日診療所の在り方、医師・看護師等の安定的な確保と、課題としてきた関係職員の定員数について審議した。

また、「只見町高齢

者福祉計画・第8期介護保険事業計画（案）」も同様に審議した。

令和2年11月開

催の一般会議及び議会報告会における町民の要望事項について、当委員会に関する事項の事務調査を行なった。



診療所と介護施設

## 経済文教常任委員会

### ●請願・陳情の審査 新型コロナウイルスの影響を調査 誘致企業の現地調査を実施

委員会では付託を受けた「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書の審査、「地域の安全

安心に関する要望」に

委員では付託を受けた「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書の審査、「地域の安全



誘致企業を現地調査

致企業の撤退を受け、従業員の受け入れ先、工場跡地の利用方法について現地調査を行った。

今後もこれらの調査を継続して実施する他、「道の駅」建設計画、鳥獣被害対策、観光政策など町民の視線で慎重に調査を継続する。

## 議会運営委員会

### ●視察来町 下郷町議会 通年議会などを研修

3月26日、下郷町から議会改革特別委員会  
の委員長含む7名が、  
只見町の通年議会など  
について研修に來られ  
た。只見町議会での通  
年議会導入や議会基本  
条例制定の経緯などを  
説明した後、下郷町議  
会議員の方々とお互い  
が抱える課題について  
情報交換ができ、大変  
貴重な機会となった。  
今後も当議会としても  
課題解決のため議会改  
革を行なっていく。



下郷町から視察に來られた方々と一緒に



## 南会津地方広域市町村圏組合議会

令和3年2月19日第1回広域市町村圏組合議会が開催された。主な議案としては、「南会津地方広域市町村圏組合ふるさと市町村圏基金条例を廃止する条例」であった。また、「令和2年度南会津地方広域市町村圏組合一般会計予算」が提案された。総額は9億1948万円。令和2年度から比較すると3億2700万円減額している。消防庁舎改築事業、旧庁舎の解体工事完了が要因である。町の負担金は1億8548万円であった。

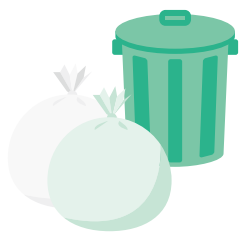


また、須賀川市から委託されてきた災害可燃ごみの処理が12月4日で終了したことが報告された。  
(千円未満切り捨て)

## 南会津地方環境衛生組合議会

令和3年2月19日第1回南会津地方環境衛生組合議会定例会が開催された。令和3年度一般会計予算は、前年度対比929万円減の9億9425万円。歳出予算の内容は各施設の定期点検修繕等の経費が主なもので、剰余

金積立金として2166万円が予算計上された。只見町の分担金は、前年度比で議会・総務費、火葬、ごみ処理費が減額、し尿処理費が増額で、前年度比477万円の減の1億2275万円である。

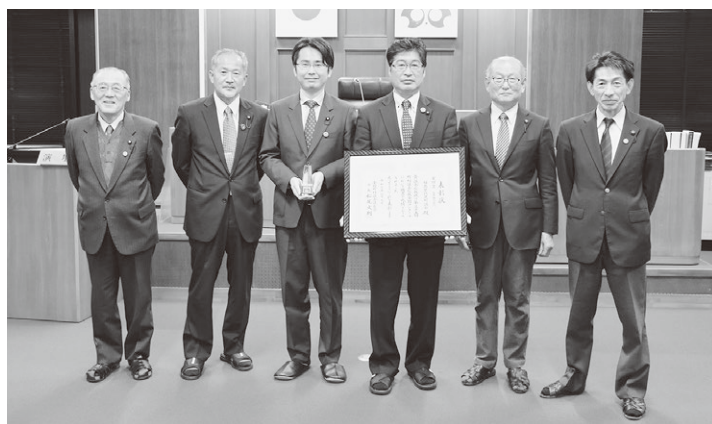


## 広報広聴常任委員会

### ● 奨励賞を受賞

- ① 議会だより163号発行作業（4月23日発行）
- ② 議会広報を通じて町民の方に行政内容が分かりやすく、読んでみたくなるような広報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③ 町民の声を市政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。「一般会議の申し込みは議会事務局 ☎ 82-15300までご連絡ください。」

☆第35回町村議会広報全国コンクールにおいて156号が奨励賞（企画・構成部門）を頂きました。今後も研鑽をつみ、興味を持って頂けるような紙面づくりをしていきたいと思っております。



分かりやすい広報誌づくり頑張ります！

## 表紙の説明



## 聖火が 駆け抜ける

3月27日只見町の代表として「合同会社・ねっか」代表社員の脇坂斉弘さんが、南会津町において東京オリンピックの聖火を繋ぎました。



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.27



アカショウちゃん

## 『財源、過疎債』ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



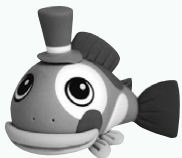
**ブナりん** 今回は大きな事業をするときの財源について教えて?

**議長** 財源には一般財源と特定財源と言うのがあるんだ。一般財源は、町税、地方交付税など町が自由に使えるお金

で、特定財源と言うのは使い道が決まっているお金のことで、例えば道路整備などに国が出すお金なんだよ。

**アカショウちゃん** 現在、建設中の「モノとくらしのミュージアム」は、どんなお金が使われているの?

**議長** 補助金のほかに一般財源と過疎対策事業債（過疎債）が使われているんだよ。



**イワっぺ** え! 過疎債ってなあに?

**議長** 分かりやすく説明すると、町が公共施設などを整備するときの借入金なんだ。でもね、後で7割が地方交付税で町に戻ってくるので3割だけ返していけば良いお金なんだよ。

**アカショウちゃん** 「モノとくらしのミュージアム」全体的にはどのくらいの比率なの?



**議長** 最終的に国県の補助金と過疎債で約7割になり、残りは町のお金だね。

**ブナりん** 町は、大きな事業などを計画するとき、有利なお金を有効に活用することが大事なんだね。

**議長** その通りなんだけど、町の大事なお金を使うので、議会はしっかりと審議をしなければならないんだよ。



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。







各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 今回は2名が一緒に録画動画になっています。

ブナりん

## 一般質問

- **酒井正吉郎** .....14  
八十里越の保存と活用の考えは
- **小沼 信孝** .....15  
只見線再開通に向けた観光政策は
- **矢沢 明伸** .....16  
日常生活サービス機能の維持対策は
- **鈴木 好行** .....17  
町内経済衰退の打開策は
- **三瓶 良一** .....18  
診療所の充実強化と人工透析を
- **酒井 右一** .....19  
公約実現のための具体的施策は
- **菅家 忠** .....20  
行政LINE等の導入は
- **山岸 国夫** .....21  
国民健康保険税の軽減対策を
- **中野 大徳** .....22  
基幹産業の農業に町独自の支援を
- **齋藤 邦夫** .....23  
町の変革に備える喫緊の課題は何か

# 町政を問う

町を想い10名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

# 八十里越の 保存と活用の考えは

**答** 国指定史跡への指定を目指す



さか い しょうきち ろう  
**酒井正吉郎** 議員

**問** 大昔から先人が維持してきた歴史の道「八十里越」については、国指定の文化登録を目指し調査を行なっており、長い年月と多額の予算が費やされている。今後は三条市、魚沼市と連携し、将来に向けて有効活用していくべきと思うが、町長の考えを問う。

**答** 「歴史の道八十里越保存・活用事業」は、総事業期間平成26年度から令和8年度までを予定し只見町、三条市、魚沼市の

三市町のほか、文化庁、新潟県などが参画して、歴史の道八十里越調査整備委員会を組織し、広域的に事業を推進しており、現在のところ現地の測量調査を実施継続しているところで

あり、令和4年度には測量調査が終了する見通しである。その後、史跡整備事業や報告書の作成及び刊行を経て、国指定史跡への指定を目指している。



八十里越に残る石のほこら

## 木質バイオマス 発電の実現を

**答** 振興を考える一つと認識している

**問** 自然首都・只見、エネスコエコパークの町として、自然を活用したエネルギー事業の推進、林業の活性化、里山整備、雇用確保、持続可能な田舎暮らし等に取り組みべきと思うが、町長の考えを問う。

のメリットが見込まれ、町の振興を考える上でも、一つの考え方だと認識している。奥会津5町村活性化協議会でも私から問題提起し、共同で研究していくべきであると発言している。町としては、専門家にも協力いただき、事業実施計画から懸案事項をしっかりと確認し、その上で必要な支援を実施していくべきだと考えているので、ご理解いただきたい。

**答** 国際社会において、環境問題やエネルギー自給率向上、持続可能な社会の構築に目が向けられており、その中で再生可能エネルギーの普及拡大はとても大切な視点だと考える。木質バイオマス発電については、木材の利活用、CO<sub>2</sub>の削減、雇用確保など多く



# 只見線再開通に向けた 観光政策は

**問** 只見線観光モデル化創出事業を進める

**問** 只見駅舎をホームと隣接した新しい駅舎を作り、まちな女関口として情報発信拠点を作る考えはないか。

**答** JRとの協議と理解が必要になるが、現在駅前用地の取得協議を進めているので、併せて最短地点

への移設等についても協議していきたい。

**問** 只見線観光モデル化創出事業とはどのような事業か。

**答** イベント列車の運行、三石神社の遊歩道を整備、お土産品の開発、只見が観光の目的地となるための事業である。

**問** 以前あったラッピング列車や只見線沿線の特産品を運べるような取り組みは考えられないか。

**答** ラッピング列車はPRには有効と考える。貨物輸送については今後検討もあり得る。

**問** 今年度JR東日本デイスティネーションキャンペーンが4月から9月まで開催される。会津地方で観光と検索すると570程の観光地、施設が出てくるが只見町に至っては田子倉、三石神社などしか検索できない。もっと増やしているか。

**答** 今年度の中、国内の幅広い年齢層に有った観光客をターゲットとして考える。

**問** 旧長谷部家を含めた滞在できる観光の目玉を作る考えはないか。

**答** 叶津川橋梁については、被災前にはSL運行などで撮影スポットとなっていた場所でもある。JR只見線及び只見町の魅力向上に資する取り組みを進めていきたい。

**問** 叶津川橋梁を観光スポットとし、旧長谷部家を含めた滞在できる観光の目玉を作る考えはないか。

**答** 今後町はどのような人達をターゲットにし、観光路線化を進めていくのか。

**問** コロナ禍の中、国内の幅広い年齢層に有った観光客をターゲットとして考える。

**問** 乗客が少ない区間もあり、全線再開通後に、廃線などと言うことにならないよう町として存続させ

**答** そのように取り組んでいきたい。

ると強い意志をJRに示してほしいと考えるが。

**答** そのように取り組んでいきたい。



お ぬま のぶ たか  
**小沼 信孝** 議員



叶津川橋梁

# 日常生活サービス 機能の維持対策は



や ざわ あき のぶ  
**矢沢明伸** 議員

**答** 喫緊の課題として認識している

**答** 人口減少が進む中で、日常生活サービスの機能の維持は喫緊の課題であるという認識は同じである。地域事業者が事業を維

**問** 町内では商店の閉鎖など大変厳しい状況もあり、町民生活に必要な日常生活サービス機能（医療、介護、福祉、買い物、交通、燃料供給、教育等）の維持は重要課題である。只見町総合戦略など具体的にどのように取り組まれるのか。

**答** 従来衣、食、住職業の職として住へと様々な生活上の相談を受けるなどの体制を整え、少しでも不便を解消して安全安心な環境が整うよう努めていき

**問** 振興計画の町民アンケートに「日常生活の充実、住民生活に目を向け、何が不足し、何が必要か考えてほしい。」という記述があった。今具体的に生活に何が不足し、何に取り組んでいくか町民へ情報発信が必要でないか。

持継続できる環境づくりが重要と考えており、商工会等との連携で消費喚起と経済活性化に取り組み、身近な課題に対しては社会福祉協会で買い物支援等日常的な生活支援サービスの提供方法等具体的に検討に着手している。

**答** 民間の方、中間支援組織等へ町はどういう日常生活上の支援をしていくか、しっかりと考え方を発信し、目指す方向性を共有し、地域がより住みよくなるような、様々な具体的な事業化を含めて取り組んでいくべきと考えている。

**問** 人口減少の中、全国で、中間支援組織といわれるNPO等が日常に必要な生活サービスを運営している動きがある。只見町に置き換えると商工会や、社会福祉協議会、観光協会、JAE等になる。今、地域の中間支援組織といえる実践活動組織と行政が地域課題を共有し、役割分担を明確にして取り組むことが必要ではないか。

たい。人口減少の中、全国で、中間支援組織といわれるNPO等が日常に必要な生活サービスを運営している動きがある。只見町に置き換えると商工会や、社会福祉協議会、観光協会、JAE等になる。今、地域の中間支援組織といえる実践活動組織と行政が地域課題を共有し、役割分担を明確にして取り組むことが必要ではないか。



町民の大切な足となっている“雪んこタクシー”



# 町内経済衰退の打開策は

**答** 総動員して打開策を見出す

**問** 町内商店の廃業や誘致企業の撤退、更には新型コロナウイルスの影響により、様々な産業・業種に衰退が見受けられる。町としての対応策は。

**答** 誘致企業の撤退にあたり、町内企業から数多くの求人を出していただいていることに感謝したい。経済の衰退は非常に深

刻な事態と受け止め、関係機関の知恵と力を総動員して打開策を見出したい。

**問** 3年度からスタートする特定地域づくり事業の目的と町の役割は何か。

**答** 特定地域づくり事業とは、人口が急減している地域の事業者が、協同組合を設立し、労働者派遣事

業を行なうもので、組合を通じ、人材をシェアすることで、人材の

確保や、安定した所得の確保等を目指すものだ。町としては、組合設立後の人件費や、事務局運営費等を支援するべく、3年度予算に計上した。



すずき よし ゆき  
**鈴木好行** 議員



誘致企業跡地の有効利用が望まれる

# 八十里越の除雪体制の確立は

**答** 喫緊の課題と認識している

**問** 建設業協会から八十里越の除雪体制の確立と人材育成支援の要望書が提出されている。町としてどのように受け止めているか。

**答** 八十里越の除雪体制の確立は喫緊の課題の課題と受け止め、大型除雪機械の計画的な更新や、GPS導入による業務の効率化を図るとともに除雪オペレーターの人材

確保と育成支援に努める。

**問** 選挙公約にもあった「高齢になっても年金収入に上乗せできる仕事の支援体制づくり」とは具体的にどんな体制か。

**答** 道の駅基本計画策定の中で、町民生産物の販売を通じて、生きがいづくりとして、課題となる集荷作業について、全町的な農産物等の集荷システムを検討している。

**問** 新型コロナウイルスの影響で町内の様々なイベントが中止になり、経済への影響も出ている。今後は予防策と並行しながら、イベントの開催を検討すべきと思うがいかがか。

**答** 今後の感染の状況を注視しながら、各種行事の開催について検討する。

# 診療所の充実強化と人工透析を



さん べ りょう いち  
**三瓶良一** 議員

**答** 将来の方向については努力する

**問** 診療所の充実・強化は只見町の最重要課題だ。診療体制見直しの中で人工透析や慢性疾患にも対応すべきと思う。豪雪地帯で高齢化が進んでいる上に遠方の病院へ週2～3回も通院するのは大変な負担だ。実現すれば近隣からの利用も増えると思われる。定住条件の向上にもなる。

**答** 現在の人工透析者は11名で、内9名は南会津病院へ通院している。この方々への支援として無料送迎バスを運行している。自家用車で通院の方に



人工透析患者の支援のための無料送迎バス運行

は燃料費を補助している。おっしゃることは理想であるが、高額な機器整備と専門スタッフが必要だ。診療所は家庭医療と総合診療を考えている。

**問**

かつて、胃カメラ検査はできないと言われていたのが、できるようになった。北里大学の医師派遣が打ち切りの後、県からの派遣を受けることができた。最初からできないという結論を出すべきではない。必要な機器やスタッフを県当局に要請すべきではないか。地域を発展させていく観点が大切だ。現在南会津病院の人工透析患者は満杯であると聞く。重症者、家庭環境、経済的な事情等も考えて支援することが地域医療の使命だと思う。現在建設中の坂下厚生病院に金山町、昭和村等近隣町村では多額な負担金さえ拠出している。三島町の県立病院は診療所に格下げになる。朝日診療所はこのエリアの医療センターであるべき

**答**

ご指摘のように、お困りの方もいる。特に冬期は遠距離で大変なことは深く認識している。人工透析は機器とスタッフを考えれば困難だと思う。慢性疾患についてはICT環境は日進月歩で進んでいる。最初からあきらめないで、将来の方向については努力する。

※他に平成23年7月新潟・福島豪雨災害に対する支援策と対策について質問がありました。



# 公約実現のための 具体的施策は

**答** 6月までにできる施策を検討する

**問** 新年度予算において町長が公約実現のため、特に腐心ふしんした施策又は事業は何か。

**答** 令和2年以前からの継続事業を中心に予算化した。経済の振興、社会福祉法人、第3セクターを含めた行政を行なう。

**問** 公約全体にわたる人口減について解決したい思いが滲しみんでいる。私が独自に推計している人口資料を配布する。生産人口の減少と自主財源の減少が著しい。町長が示している人口ビジョンでは将来3000人を維持するとしているが、

希望的な予測に過ぎない。私の独自資料では2000人を割る。町長は、あくまで人口減少を緩和し3000人を維持するとしているが、只見町総合戦略では、具体策が示されていない。具体策は。

**答** ピンポイントの質問だが、これは大きく考えなければならぬ。財源について、集落排水事業の完成やごみ処理の効率的な取り組みで、環境衛生組合などの負担金が減った。このような方法を活かし財源の確保をしていく。

**問** 公約には子育てについての施策はあるようだが、これは過去の踏襲に過ぎない。男女が結ばれ、妊娠出産する過程の支援がない。特に経済面の支援がない。出産がなければ今後も人口は減少する。人口ビジョンは町消滅のカウントダウンではないか。これを回避する経済支援策はいかに。6月までに実施計画の変更ができないか。

**答** 魅力的な町づくりが先と考える。Uターン、Iターンを進め生産人口を増やすなど、今後その様に具体化していく。人口ビジョンの将来の人口展望に示す課題を実現するため、6月までにできる施策を検討する。

※他に地区振興センターに関する質問がありました。



さか い ゆう いち  
**酒井 右一 議員**

## 用語の解説

### 財源の縮小が進行

過去10年で町税は1億円以上、地方譲与税は2億8千万円の減少。地方交付税減少傾向

### 只見町人口ビジョンとは

人口の将来像を定め、人口減少を施策や事業で緩和させ2040年における人口目標を3000人とした計画書。例えば、合計特殊出生率を2.3としている。(現状は1.5)

### 只見町総合戦略とは

人口ビジョンで示した数字を実現させるため、具体的に施策や事業を取りまとめた計画書。

# 行政LINE等の導入は

**答** 今後研究していく



菅 家 忠 議員

**問** 只見町でも行政事務の最適化を進める必要があると考える。例えば行政LINEを活用している自治体がある。地震の際には自主避難所など、重要な情報が発信された。年代問わず多くの方が使っているLINEなどを活用し、災害時や町民参加型のまちづくりのために、新しい仕組みが必要だと考えるが町長の考えを問う。

**答** 行政事務の新しい仕組み（デジタル化等）は取り組んでいかななくてはならないものと考えている。新型コロナウイルスや災害時のために、ホームページの全面リニューアルを行なっている。行政LINEの導入についても今後研究していく。



業務最適化ツール、他自治体の採用方法、町職員の雇用体系など資料を作成し、質問に臨みました。

**問** 先程の行政LINEのような着手してみたい事業があっても、現状の人員体制では難しいと感じている。また他の自治体と比べて人材確保に大きな温度差を感じるため質問する。例えば国（農林水産省）は「何をしたいから」、「どのような人材が必要で」、「どうすればその人材に情報が届くのか」を民間の転職サイトなどを活用し明確にしていた。只見町での現状分析と評価を求める。また「求める人材、その待遇の情報発信が弱いこと」は人が集まらないことの要

## 職員の採用・待遇・働き方については

**答** 手法を研修して人材確保に努める

因の一つではないかと考えるが町長の考えを問う。

**答** 広く周知すべく努力しているが、望む成果がでていないため情報発信手段の検討が必要と考える。今後のまちづくりを考え、人材確保や育成は非常に重要であり様々な手法を研修して人材確保に努める。

**問** 「財を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上なり。されど、財なさずんば事業保ち難く、事業なくんば人育ち難し。」という格言がある。まちづくり（事業を残す）から人づくり（人を残す）の視点を持った事業を実施していただきたい。

**答** そのように思う。





# 国民健康保険税の 軽減対策を

**答** 町民の所得が減っている状況を受け止め対応

**問**

厚生労働省は、高すぎる国民健康保険税(料)の問題で「子育て世帯の負担軽減」を進めるとして、「均等割」部分の5割を未就学児に限って公費で軽減する方針を決め、令和4年度から導入する予定としている。只見町においても国保

基金の活用を図り、令和3年度の国民健康保険軽減対策を求める。

**答**

未就学児に係る均等割り保険料の軽減は、子育て世代の経済的負担軽減施策として効果を認識しているが、県の統一保険料率に向けた協議の動向を注視する。

**問**

国保税は6月に決められるが、

算定(税率)は町独自で決められる。令和2年度は、「新型コロナウイルスによる影響の中では増額しないほうが良いと考える」という方針で令和元年と同じ税率であった。新型コロナウイルスの影響で町民の収入も落ちている。町民の生活に思いをはせ、福祉・健康管理の政策的課題として基金を活用して国保税の軽減対策を提案している。年収400万円4人世帯の国保税(40歳以上)は472800円と協会けんぽの倍額となっている。全国知事会・市町村会も

高すぎる国保税(率)の軽減対策を政府に要望している。

**答**

基金の活用は保険者減と将来見通しを含めて対応。経済的に打撃を受けている状況を十分受け止めて検討する。

## 買い物支援の 現状と課題は

**答** 事業主体は社協、  
課題は町も入り検討

朝日診療所受付

**問**

買い物支援対策については、昨年3月・6月会議で提案し、9月会議で移動販売車を購入する800万円の予算処置がとられた。その後の実施状況は。

**答**

事業主体の只見町社会福祉協議会が貸与事業者の募集を行ない、審査会を経て2事業者に貸与を決定している。車両の稼働は1台が4月、2台目は8月頃を目途に進めている。

**問**

町の関わり方は  
どうなるか。

**答**

社協の生活支援体制整備協議体に町も入り、見守り・配食など運営上の課題について検討する。



やま ぎし くに お  
**山岸 国夫** 議員

# 基幹産業の農業に 町独自の支援を

**答** 独自の支援策を図り農業振興に努める



なか の たか のり  
**中野大徳** 議員

## 問

新型コロナウイルス感染症の影響により、各産業に甚大な減収、減益の影響を与えている。国において様々な支援策が講じられているが、米は民間在庫量の増加に伴い令和3年産の米価下落が予想されている。農産物に対して町独自の支援策が必要と考えるが町の考えは。

## 答

独自の支援策のひとつとして、令和2年の農業収入が20%以上かつ15万円以上減収した農家へ定額15万円を給付する「只見町農林水産業経営継続給付金」を確定申告の開始に併せて実施し、農業経営持続化のための支援を行なっている。また、米の需要拡大及び只見産米のブランド化と米の六次化商品の販路拡大による所得向上を目的に、「農産物販売強化事業」を実施している。只見産のPR、販売促進事業を継続的に実施し、現行の稲作農家育成支援事業等、町独自の支援策の振興を図りながら農業振興に努めていく。

## 問

自然エネルギーバイオマス発電によるCO<sub>2</sub>の削減は、産業界に大きな変革をもたらしていく。ユネスコエコパーク登録の町として近隣市町村よりリーダーシップを取って研究していく必要があると考える。

## 答

自然エネルギーを活用したバイオマス発電については、CO<sub>2</sub>の削減など持続可能な社会の構築に大切な視点である。奥会津5町村活性化協議会においても、木質バイオマス発電については、メリットと懸念される課題もあることから、共同研究していく必要

# 自然エネルギー バイオマス発電の研究を

**答** 持続可能な社会の構築に大切な視点

があると提言した。今後とも必要に応じ、近隣市町村と連携し、また、リーダーシップを発揮し、地域課題解決に向けて邁進する。



活用が期待される木材



# 町の変革に備える 喫緊の課題は何か

**答** 駅前賑わい創出と交流施設の整備

**問** 八十里越や只見線の再開通を控え、本町の産業経済活動に大きな変革が期待され、その備えが急がれる。町長のまちづくり構想を伺いたい。

には只見駅前の賑わい創出や交流拠点施設整備が喫緊の課題である。また、生産から加工、流通まで、経済が循環する産業振興の仕組みも併せて考えたい。

**答** この変革を好機ととらえ、単なる通過点とならない取り組みが重要、具体的

**問** 新年度の重点施策は何か。

**答** 当面は新型コロナウイルス感染症対策で、

ワクチン接種を早期・適切に行ない、町民の安全・安心を確保し、それが経済活性化に繋げ、その上で定住対策、産業振興対策などに取り組みたい。

**問** 「大場より急場」という囲碁の格言があり、コロナ対策は町民の命に関わるものでやむを得ないが、将来の町づくりの布石を忘れずに。

**答** 町づくりの布石や公約・施政方針を実現するため、ブレることなく施策や予算など通年議会制度を活用し、議会と協議しながら取り組んでいきたい。

**問** 町長は魅力ある町づくりを提唱されているが、景観条例が制定され20年が経過し、その取り組みと成果を問う。

**答** 本条例は町制施行40周年を記念して制定され、景観形成基本方針を定め、集落等の協力で河川や道路のクリーンアップ作

戦、婦人会や老人クラブ、ボランティア団体等により美化運動等を進めてきた。

**問** 来訪者が楽しく周遊できる環境整備をするため、先進地では景観アドバイザーの活用など、具体的に整備計画を立て継続的に取り組み、美しい景観形成に結びつけている。実効性のある方策が必要と思うが。

**答** 只見においての方々が、感銘を受けられるようなユニスコエコパークや田園風景など、只見の貴重な資源を最大限に活用できる対策を講じてみたい。



議員 夫 邦 藤 齋



只見駅前の賑わい創出を

### イワナの養いよくばおぼろいしたんじ

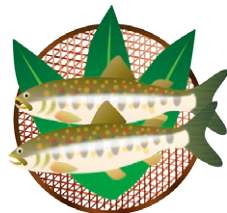


朝日小学校  
6年 齋藤 寧々

私は、総合の学習で、町の魚であるイワナについて調べました。イ

ワナを養いよくする時の工夫がたくさんあっておどろきました。その中でも一番おどろいたのは、水そうを分けるということです。まさか、同じ種類の魚が共食いするとは思わなかったからです。他にも常に水そうを清潔にしないと、イワナが病

気にかかるということも聞きました。魚にも病気があるなんて知らなかったもので、知ることができて良かったです。



### 只見のいいところと将来の夢



明和小学校  
6年 矢沢 悠樹

ユネスコエコパークにも登録されている只見では、自然を間近に感じることができます。

実際にぼくも五年生の時に、田植え体験や稲刈り体験、トマトハウス見学などを行い、豊かな自然があるからこそ、おいしいお米やトマトができることを学びました。ぼくの将来の夢は、多くの人に只見に来てもらい、観光案内をすることです。そのためにも、ぼくが

力を入れていく只見学の勉強をこれからも続け、只見のすばらしい自然や古くからの歴史を自分からどんどん発信していきたいと思えます。



### 編集後記

昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響による各種行事の自粛や感染防止の気遣い、例年になく大雪の影響、誘致企業の撤退など、大変な思いで暮らされていると思います。降雪量の割には雪解けも早く、春が待ち遠しい時期ですが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の影響のない生活ができることが望まれます。当委員会も「議会だより」の編集力アップとなる視察研修が未実施となりましたが、令和2年度の第35回町議会広報全国コンクール審査において「只見町議会だより」156号が奨励賞（企画・構成部門）を受賞しました。引き続き分かりやすい議会だよりの編集に努力します。  
(山岸国夫委員)

#### 発行責任者

議長 大塚純一郎

#### 広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 酒井正吉郎

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp